

あみだすず
阿弥陀清水

山形市大字土坂

～令和元年度選定～



里の名水・やまがた百選

山形市の東方、県庁から蔵王高原ラインを蔵王に向かう途中、土坂公民館の脇、柵に囲まれた奥にある。傍らに祀られた阿弥陀仏から「阿弥陀清水」と呼ばれている。奥まった暗がりでは、整然と並ぶ玉砂利敷きの隙間からこんこんと水が湧き出ている。下流の堰には、梅花藻が繁茂し、初夏から晩秋にかけて水中に白い可憐な花を咲かせる。



〔管理者・保全体〕土坂町内会



歴史や利活用

昭和 61 年に県道が整備された際に県道の下となり、このような形で保存されることになった。

昔、瀧山詣が盛んな頃（かつてこの地が「草矢倉村」（くさやぐらむら）という名前の村だった頃）から、ここを通る旅人が、この清水でのどを潤し一休みしたといわれる。現在も多くの人がこの水を求めて訪れる。

アクセス （北緯 38. 207056° 、東経 140. 369167° ）

国道 286 号線から県道 167 号線（蔵王高原ライン）へ入り、蔵王温泉方面に約 10 分、7km ほど進む。土坂公民館前バス停が見えたら、丁字路を右折すると、すぐ右手に土坂公民館があり、湧水は土坂公民館の奥にある。公民館前に駐車は可能である。

近くの見どころ

- <やまがた百名山 > ◆ 瀧山、千歳山
- <日本一の滝王国山形> ◆ ー
- <やまがた景観物語> ◆ 蔵王公園展望広場から一望する山形市街地

清らかで水量豊かな湧水が県内各地に点在し、大地や人、草木に潤いを与えています。県では地域の人々に育まれてきた優れた湧水を「里の名水・やまがた百選」として選定し、地域の活性化や観光誘客につなげていきます。

また、本県は「自然が豊富で水がいい」強みを活かし、質の高い県産品をお届けすることができます。

